



まほろばの丘から



令和5年5月1日 文責 校長 江口 尋信

4月13日、第44回入学式を行いました。92名の新1年生が入学し、本校の児童数は602名となりました。元気いっぱいの1年生を迎え、学校がますます活気を帯びてきました。わたしたち教職員も、子どもたちの元気に負けないよう張り切って頑張っていきたいと思います。

集団登校



4月は、子どもたちが「集団登校」をしています。集団登校については、地区委員さんや保護者の方などにご協力いただきながら実施しているところです。心より感謝いたします。ありがとうございます。

この集団登校ですが、子どもたちの登校によい影響を及ぼしています。まず、極端に早く登校する児童や遅刻をしてくる児童がほとんどいません。時間を決めて子どもたち同士で待ち合わせることで、起床や登校の準備などがスムーズにできているのではないかと思います。また、上級生から下級生までが一つの集団で登校することで、異年齢の集団活動を経験することができます。子どもたちにとって、こういった異年齢集団の体験は、見守る側である上級生の自覚と自立を促すとともに、見守られる側の下級生の安心感につながっています。



「にしの日」の集団登校

冒頭でも述べましたが、地区委員さんや保護者の方のご協力に改めて感謝いたします。

過程を大切に

最近、ニュースなどで取り上げられている「チャットGPT」をご存じですか？チャットGPTとは、アメリカの企業が開発したAIを使ったチャットサービスです。人間の質問に対して、まるで人間のように自然な回答をするのだそうです。詩や小説を書いたり、作曲をしたりすることも可能で、今後、国会の質問の回答もチャットGPTを活用するなんて話も出ていました。便利な世の中になったものだと思います。

わたしは、もちろん、AIにより暮らしや社会が便利になることには大賛成です。一方で、心配しているのは、何か解を得るまでの「過程」が飛ばされることです。例えば、今、この「まほろばの丘から」を書いています。書きながら「自分が言いたいことが伝わっているか」「この言葉は適切か」「不快に感じる方はいないか」など、考え考え、何度も書き直しながら清書を仕上げていきます。その過程で、多くのことを学んでいるわけです。子どもたちは、雨の日も風の日も歩いて学校へ登校し、授業に臨みます。そして、友だちのいろいろな発表を聞きながら、自分が納得する「解」を得ていくのです。一見遠回りのようですが、こういった過程こそ、子どもたちの行動や思考をしなやかにするように思います。

みなさんはいかががお考えでしょうか？